

帯広市立 大空中学校だより

星と森の大空へ

No.13 令和4年2月18日発行 校長 村松正仁

～重点目標～

ONE TEAMで

大空学園義務教育学校へ
家庭・地域に支えられ
共にあゆみ、共につくる
夢のある学校

最後まで諦めず 頑張れ3年生！

学校だよりですが、3年生のことを中心に書かせていただくことが多くなり申し訳ございません。義務教育を終えて独り立ちを始める大切な年齢である思いが私に強くあるため、今回も3年生保護者への応援の気持ちを込めてスタートさせます。

順調に入試関係の日程は進んでいます。私立高校の一般入試も無事終わりました。残すは3月3日「公立高校の入学者選抜試験」のみとなりました。体調管理、学習のサポート、励ましの言葉、それぞれのご家庭で子ども達を励ましていることと思います。

試験の結果には必ず、合否がつきます。これも人生で初めてのことです。

結果に一喜一憂することもありますが、人生は長いマラソンのようなものだと知っているのは、保護者の方々です。山あり谷あり、保護者の励ましや厳しい言葉が、子ども達にとって一番大切な時期です。

新たな春に向けてあと少し、大きな心の声で子ども達の背中を押していただきますようお願いいたします。学校の職員も最後まで全力で子ども達の成長を支える覚悟です。



感染防止の再徹底と学校行事

新型コロナウイルスの第6波のピークアウトが目につくようになりましたが、北海道は蔓延防止期間の延長が予定されています。これまで学校では、体育の授業の学級単位の取り組みや合唱の禁止、黙食の徹底、アイスホッケー大会の延期等々、行事や授業のあり方の工夫を重ね教育活動を進めていますが、年度末の重要な時期にさしかかり、今一度感染防止の徹底をはかった取り組みを強化しています。ご家庭におかれましても、改めて次の事項についてご協力いただき、各種行事についてご理解をいただきますようお願いいたします。

＝再確認を！＝

- 手指消毒の徹底（外出先から帰ったら、すぐに行うよう指導願います）
 - マスクの着用の徹底（可能な限り不織布マスクの着用を心がけてください）
 - 食事の際の工夫（家庭においても話しを少なく、時間帯をずらすなど飛沫感染の防止を）
 - 人混みを避ける（人混みの場所に出向くときは短時間で）
 - 換気を定期的に（家庭においても換気は定期的に行うように心がけてください）
- ＜学級閉鎖や学校閉鎖にしないためにも早めの連絡、学校への相談をお願いします＞

＝卒業式の対応について＝

コロナウイルスに伴う蔓延防止措置のため帯広市教育委員会より卒業式の実施に関わる形態について学校で十分配慮するよう通知がありました。本校では次の通り実施する予定ですのでご理解ご協力をお願いします。

式場での参列は3年生と保護者（各家庭1名）のみとします。1, 2年生は別室でのオンライン参加とします。なお、今後中学3年生のご家庭には、卒業式に関する案内文を配布いたしますので確認をお願いいたします。

オンライン授業の心得 必読

一人一台端末が配布され、授業や家庭学習においても学習の様子が大きく変わってきています。これから時代を生きていく子ども達にはこれら情報機器と上手に向き合い利用することが大切となります。便利な学習道具としての指導に学校と家庭の共通理解が大切ですので、ご協力をお願いいたします。

特にコロナ対応などにおいて、オンライン授業も積極的に行っていますが、授業である性質上一定のルールが必要となります。次のように子ども達に指導していきますのでご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



※本人が健康（授業を受けられる状態）であるが、やむを得ない事情により長期欠席等が見込まれる生徒が対象であること。

- ①風邪などの体調不良による欠席は該当しません、（しっかりと休んで体調を整えるよう指導ください）
- ②けがや骨折など授業の受けることのできる状態は該当します。（担任へ相談してください）

※オンライン授業も学校の授業同じ気持ちで参加させてください。

- ①服装や身だしなみ、態度や学習環境等、ご家庭で配慮願います。（学校で授業を受けているのと同様です）
- ②原則「カメラ」「マイク」をオンにして、授業に参加します。

※健康管理に配慮した参加をお願いします。

- ①長時間の画面集中は体の負担が大きくなります。業間ごとのストレッチや目の体操など声かけをお願いします。

後期 学校評価ありがとうございました。

後期の学校評価アンケートにご回答いただきありがとうございました。主な結果について報告します。詳しくは、HPに後日掲載しますのでご覧ください。

回答数は合計で87名の方からいただきました。

14の質問項目に対しておおむね良い評価をいただきましたが、次の項目では改善を求める声がありましたのでお知らせします。

- 学校は子どもや保護者の疑問や悩みに寄り添う姿勢を持っている。(11%の家庭がやや当てはまらない)
- 家庭学習に取り組んでいる(26%の家庭がやや当てはまらない 6%が当てはまらない)
- 学校に安心して登校させられる(8%の家庭がやや当てはまらない 1%が当てはまらない)
- 元気に学校に通っている(4.6%の家庭がやや当てはまらない 3.4%が当てはまらない)

＝今後の取り組み＝

子育てにマニュアルはありません。一人一人は人格の持った人間だからです。学校が保護者の悩みに寄り添う姿勢がかけていてはいけないと強く思います。この項目は0%を目指していきたいと思います。家庭学習については、タブレットの有効活用、学校と家庭の真の連携で、必ず実行できるものです。担任からいろいろなアイディアを示しますので、ご協力お願いします。安心した学校への登校、元気に学校に通う。いずれも0%を目指します。子ども達の居場所や存在感を実感できる取り組みを充実させたいと思います。具体的に指摘がある場合は遠慮せず学校にお知らせください。

